

# 琴平町観光基本計画





<目次>

<本編>

第1章	はじめに	1
1	計画の必要性	
2	計画の位置づけ	
3	計画期間	
第2章	琴平町観光の現状と課題	2
1	現状	
2	強みと弱み	
3	課題	
第3章	基本的な考え方	14
1	琴平町観光の基本理念	
2	地域独自の価値とブランド・コンセプト	
	(1) 地域独自の価値	
	(2) ブランド・コンセプト	
3	達成目標	
第4章	アクションプラン	19
1	ブランド価値の構築	
2	ブランド価値の提供	
	(1) 国内外の来訪者が地域らしさを体感できる地域の魅力創出	
	(2) 国内外の来訪者が快適かつ安心して周遊・滞在できる受入環境の整備	
3	ブランド管理	
	(1) 持続的な地域マネジメント体制の確立	
	(2) 地域の多様な関係者との連携	
4	来訪者の評価	
第5章	推進体制	30
1	推進体制	
2	推進体制における役割	
第6章	ロードマップ	33

<資料編>

琴平町観光基本計画策定委員会 開催記録・委員名簿

# 第1章 はじめに

## 1 計画の必要性

### 琴平町は、持続する観光地域づくりをどのように行っていくのか？

琴平町は、金刀比羅宮の門前町として発展してきた、国内外に誇れる観光都市です。

江戸中期から盛んになった「こんぴら参り」により、複数の街道を通じて全国とつながりました。日本を代表する観光による賑わいづくりの原形がつくられ、「一生に一度は、こんぴらさん」と庶民が憧れる旅先となりました。

しかし、現在では定住人口の減少、消費市場の規模の縮小、労働力・人材不足などにより、持続的な地域社会の維持・発展が困難となりつつあります。

琴平町の観光は、雇用の確保や経済波及効果のある主要産業として成長が期待されていますが、国内・国外の観光地域間の競争、国内旅行需要の減少など、観光都市・琴平町をとりまく環境も大きく変化しています。

このような状況の中、末永く目的地として選ばれ続けるためには、単に知名度が高いだけの観光地を目指すのではなく、琴平町にしかない「地域独自の価値」を認識し、磨き、来訪者の信頼を得るといふ、持続的に地域のブランド力を高める取り組みが必要です。

本計画は、これまで直接、琴平町の観光を支えてきた人はもちろん、これまで観光に直接関係を持たなかった人も一緒になって、持続可能な観光地域づくりを行うための考え方と取り組みを明確にするために作成します。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、第4次琴平町総合計画で示された観光関連施策について、より専門特化して推進するために作成されます。

## 3 計画期間

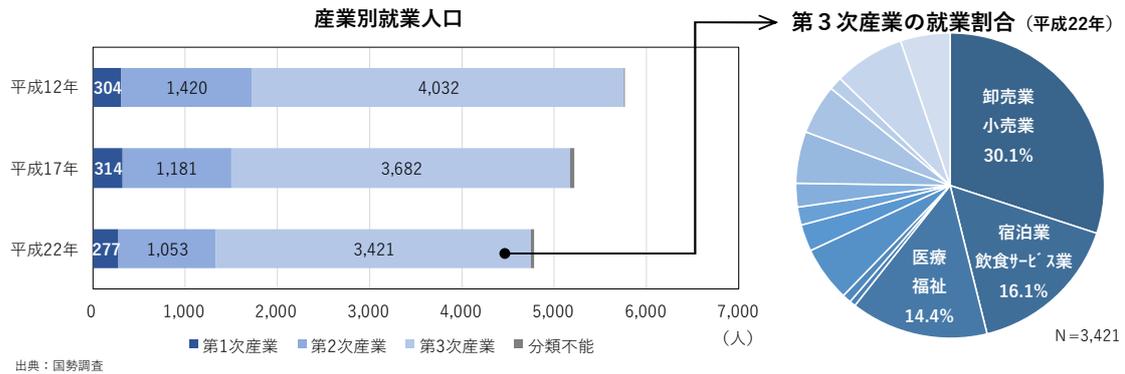
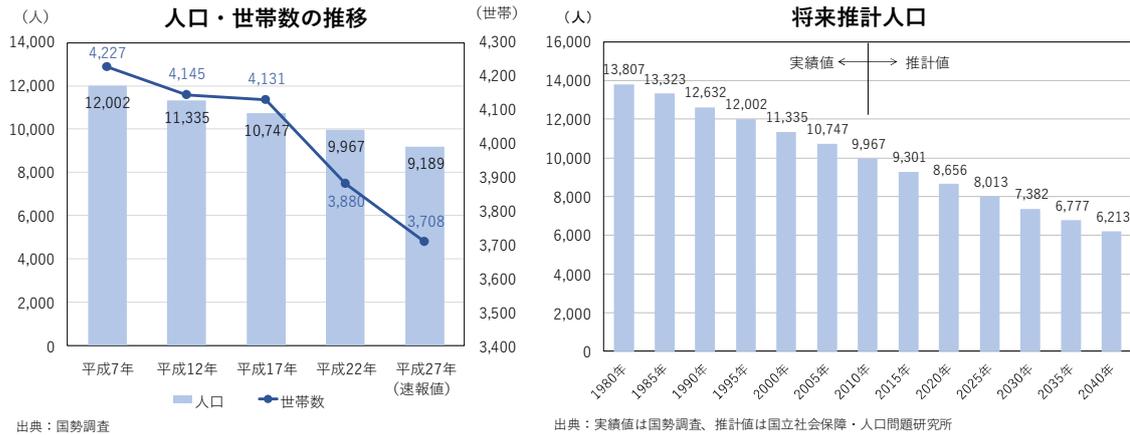
本計画の計画期間は、第4次琴平町総合計画の計画期間と整合を図り、平成29年度から平成32年度までの4年間とします。なお、計画策定後は、進捗状況の把握も行いつつ、琴平町を取り巻く社会経済情勢の変化などにも対応しながら、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

# 第2章 琴平町観光の現状と課題

## 1 現状

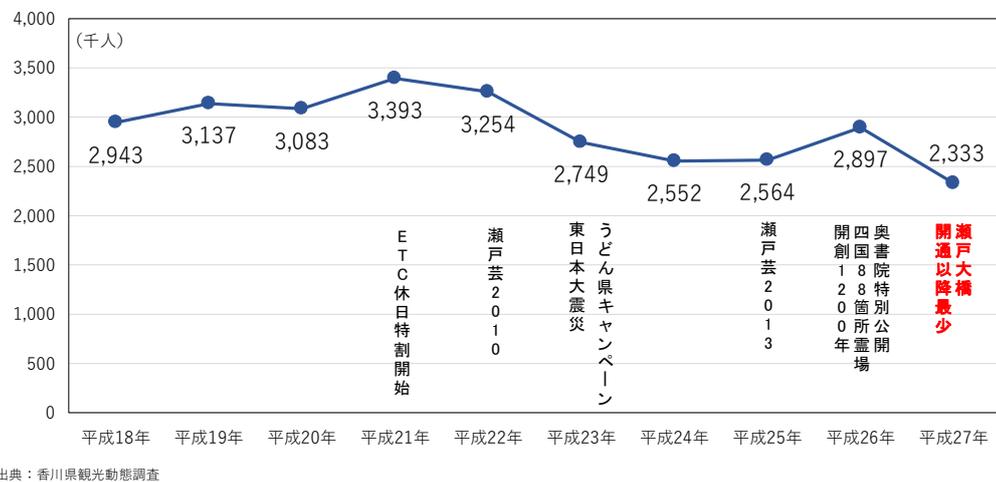
### (1) 人口・世帯数・産業別就業人口

- 人口は過去30年間で3,840人減、今後30年間で3,754人減(推計)となっています。
- 働き手が不足し、現在の規模での地域産業の維持が困難になる恐れがあります。



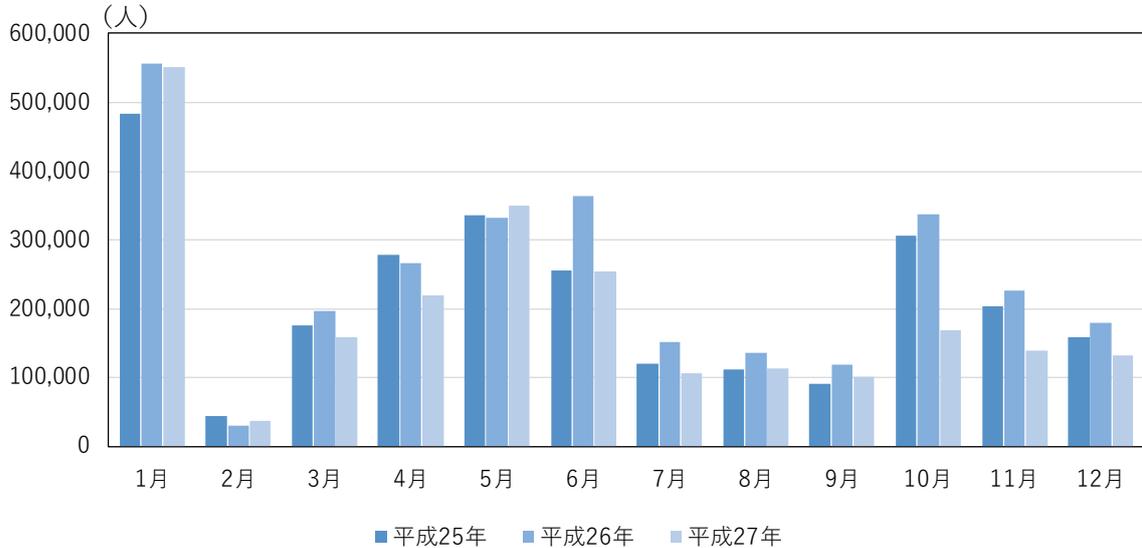
### (2) 観光地入込客数

- 漸減傾向にあります。平成27年は瀬戸大橋開通以降最少(対前年比20%減)



### (3) 月別・観光地入込客数

□ 入込客数は2月、7月～9月が少なく、季節波動が激しくなっています。



出典：香川県観光動態調査

### (4) 来訪者の状況（平成28年来訪者調査結果の概要）

琴平町に来訪する観光客の観光動態や意向を把握し、今後の観光振興方策を検討するための基礎資料とすることを目的に、来訪者調査を実施しました。調査結果にみられる、観光客の特性は以下のとおりです。

#### <実施概要>

#### ○調査手法

聞き取り調査員による直接ヒアリング方式

#### ○調査日時

平成28年9月17日（土）、平成28年9月18日（日）、平成28年9月23日（金）

※各日とも調査時間は9:00～17:00（8時間）

#### ○調査箇所

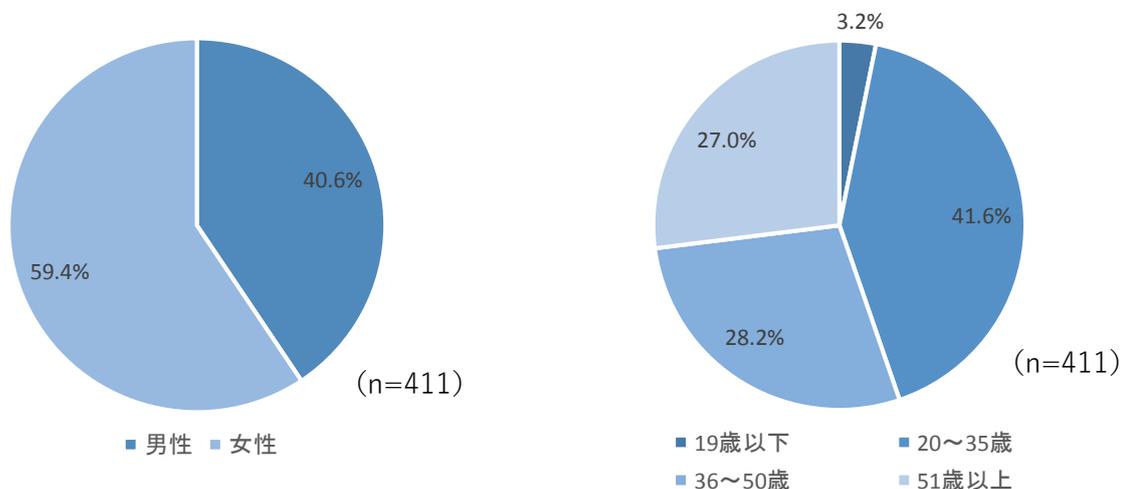
金刀比羅宮参道（金陵の郷～石段前）

#### ○有効回収数

411票（日本363票、台湾22票、香港26票）

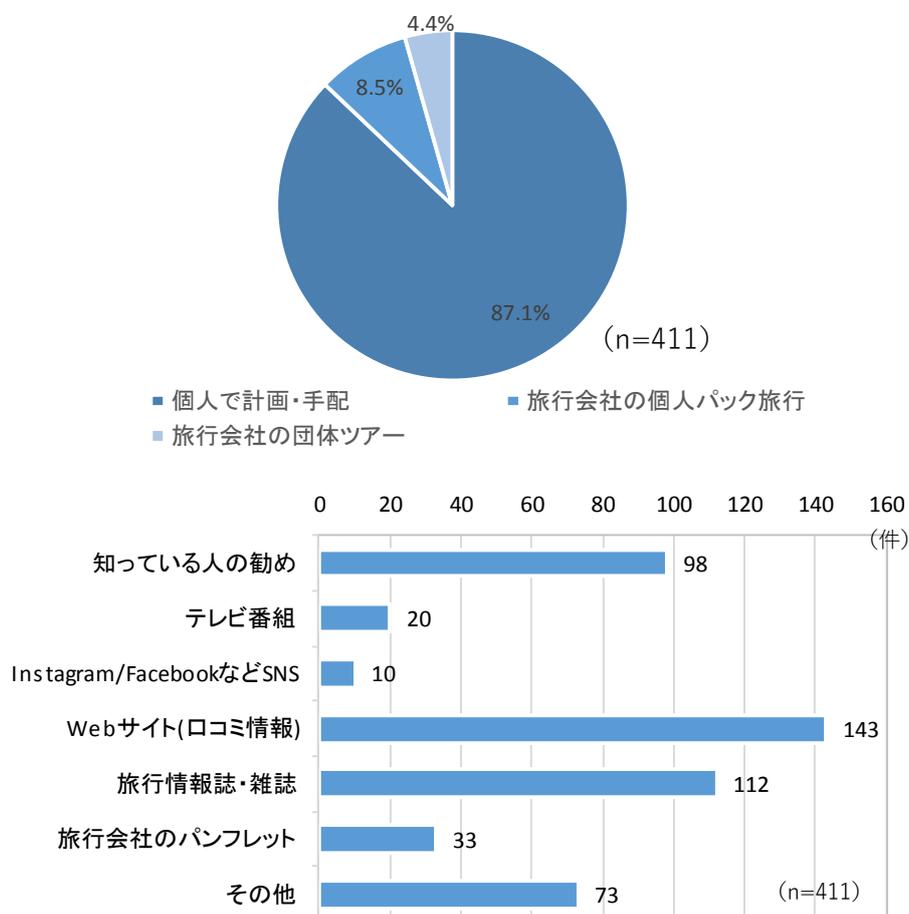
### ○性別・年代・居住地

回答者の男女比率は4：6の割合で女性の方が多く、年代別では「20～35歳」が最も多くなっています。居住地は「大阪府」が最も多く、次いで「東京都」、「兵庫県」の順となっています。



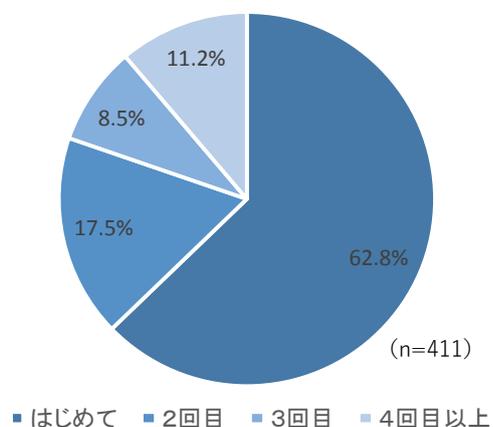
### ○旅行形態

「個人で計画・手配」が約9割を占め、個人旅行が95%超となっています。参考にした情報源は、Webサイト（口コミ情報）が最も多くなっています。



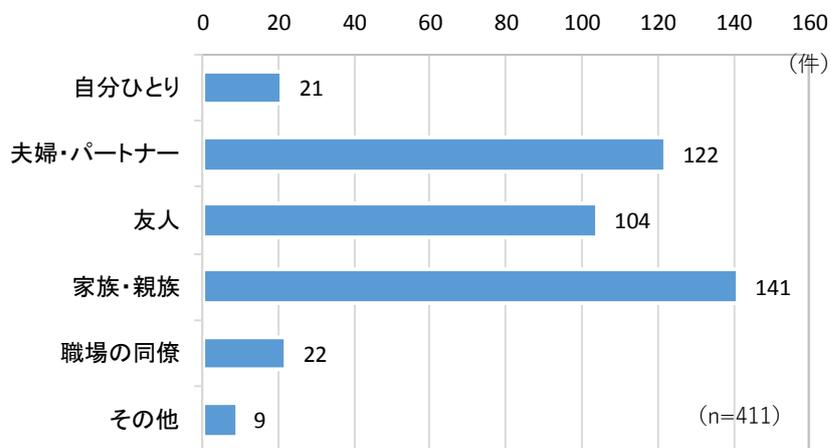
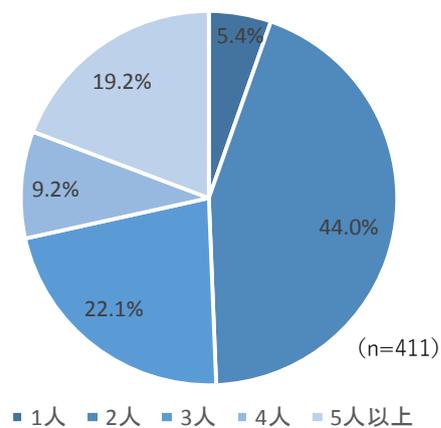
### ○来町経験

「はじめて」が62.8%で最も多くなっています。県外客のみに限った場合でも、「はじめて」が65.3%となっています。



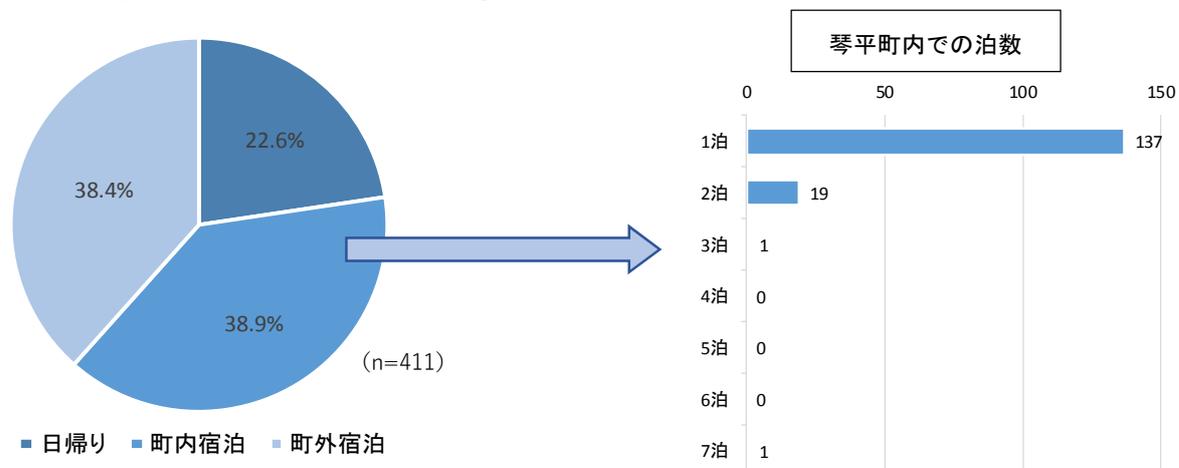
### ○旅行人数・同行者

旅行人数は、「2人」が44.0%と最も多く、同行者は、「家族・親族」「夫婦・パートナー」が多くなっています。



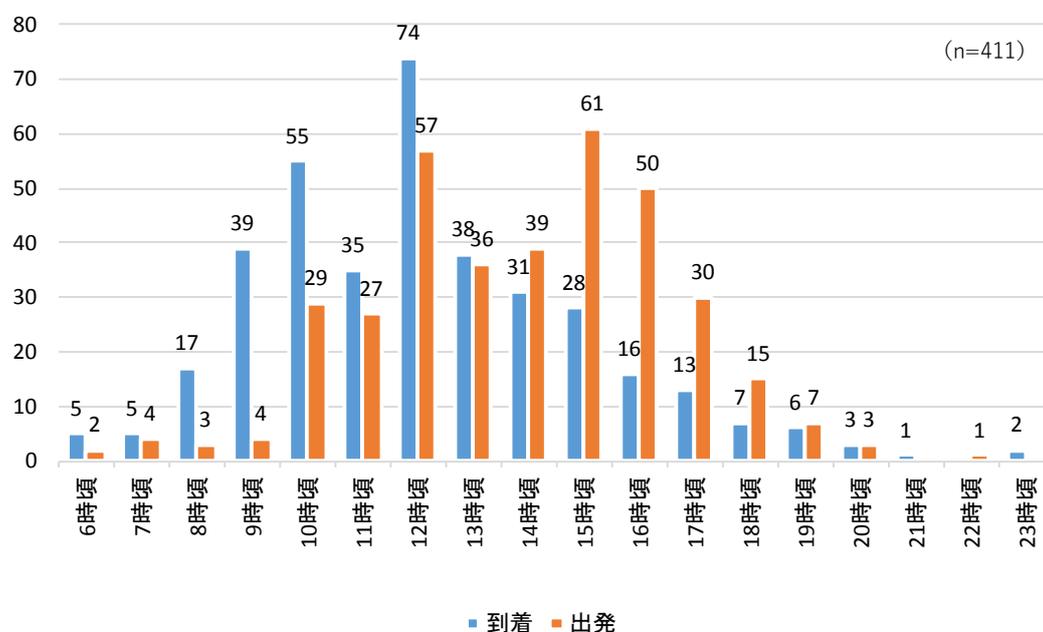
## ○旅行日程

全体の77.3%が宿泊観光客で、琴平町内宿泊者は38.9%となっています。琴平町内での平均泊数は1.13泊となっています。

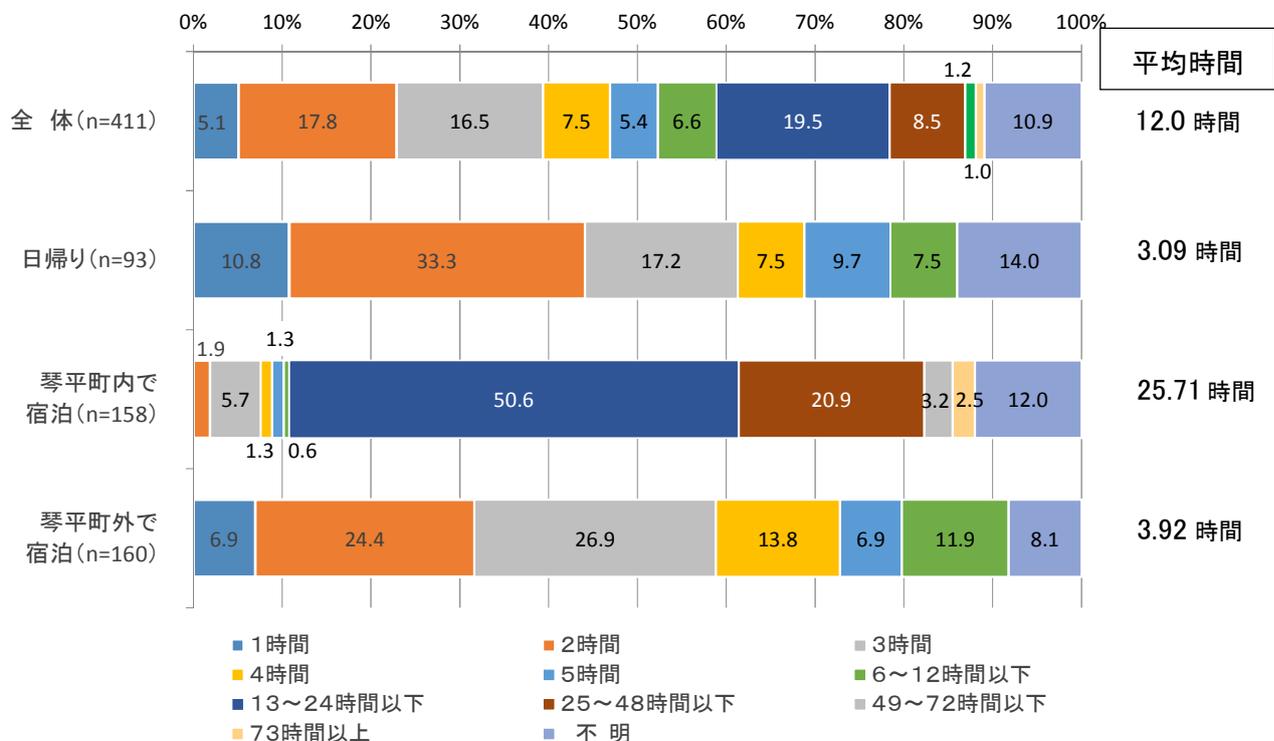


## ○滞在時間

到着が「12時頃」や「10時頃」が多く、出発は「15時頃」や「12時頃」が多くなっています。例えば、日帰り観光客であれば、琴平町内では午前のみまたは午後のみ数時間を観光に費やすという方が多くなっていると考えられます。

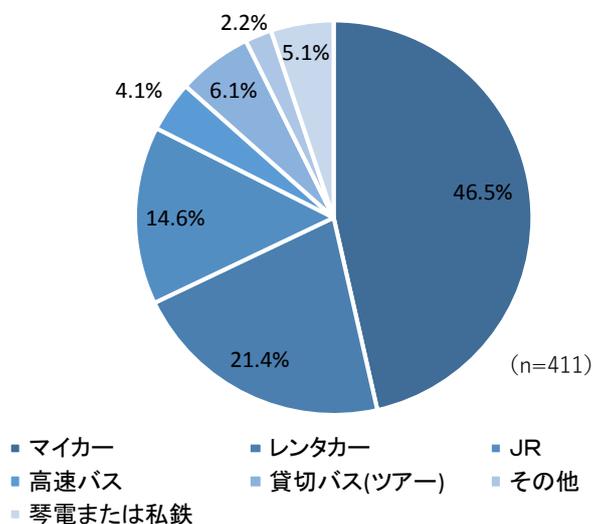


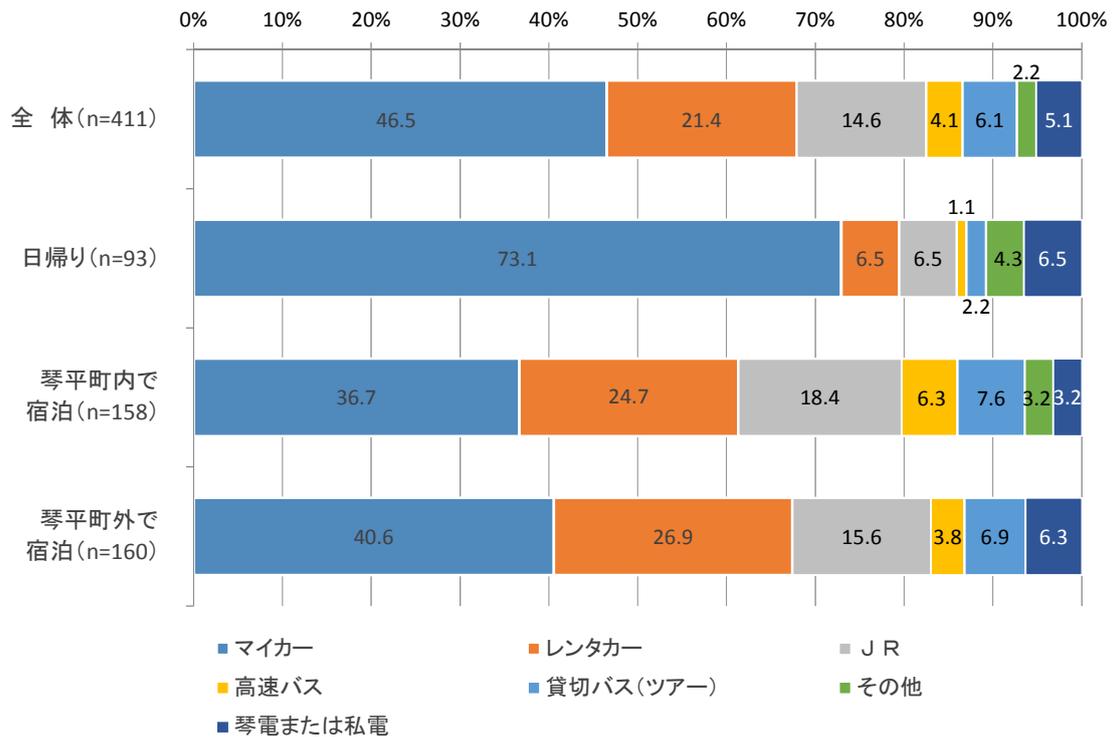
旅行日程別の滞在時間では、『日帰り』では「2時間」が33.3%で最も多く、平均滞在時間は3.09時間となっています。『琴平町外で宿泊』では3時間以上滞在の割合が増え、平均滞在時間は3.92時間となっています。



### ○交通手段

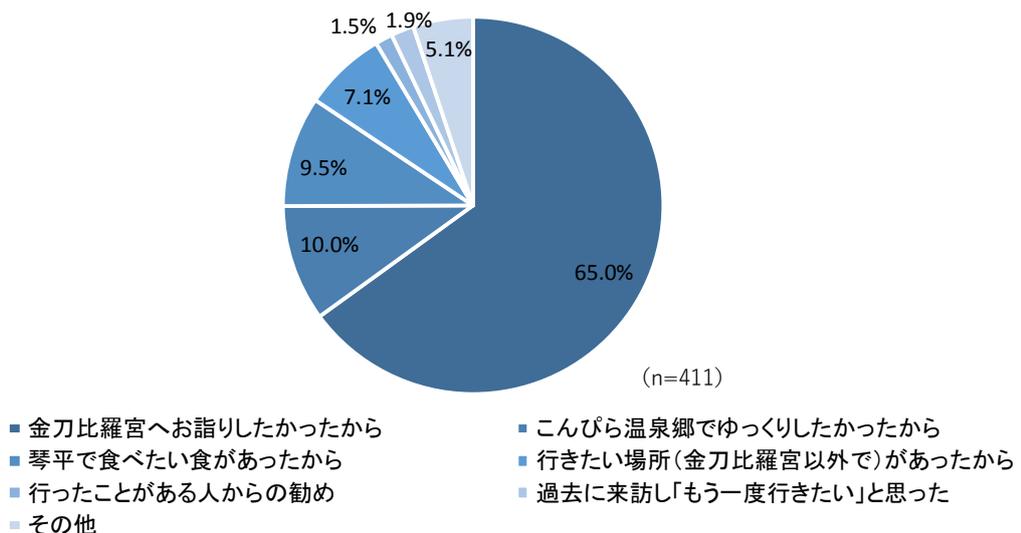
全体では「マイカー」が46.5%、「レンタカー」が21.4%で、約7割の観光客が車を利用しています。旅行日程別に見ると、宿泊客は日帰り客に比べて、マイカーの利用割合が減り、レンタカーとJRの利用割合が増加しています。

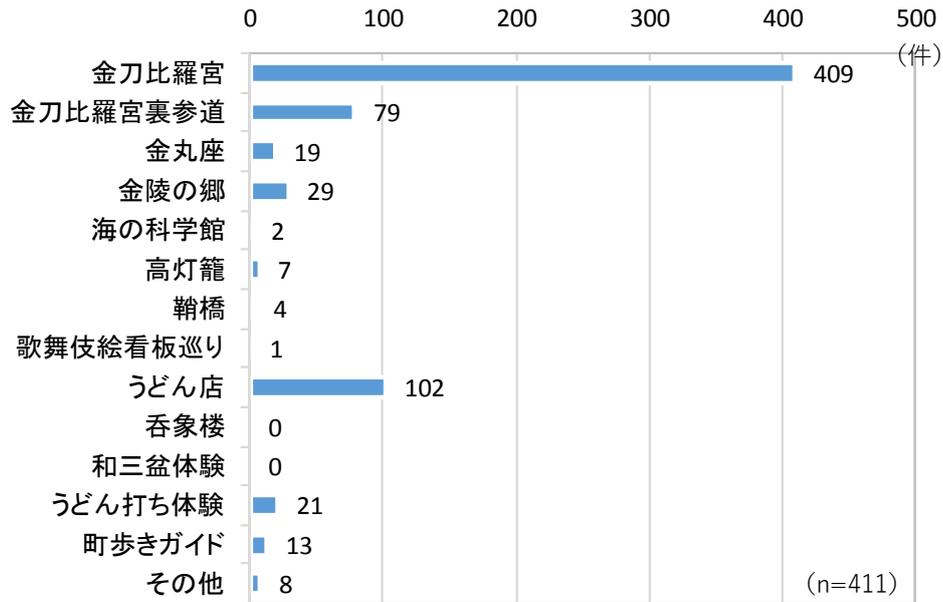




### ○琴平町を旅先に選んだ理由と町内の訪問場所

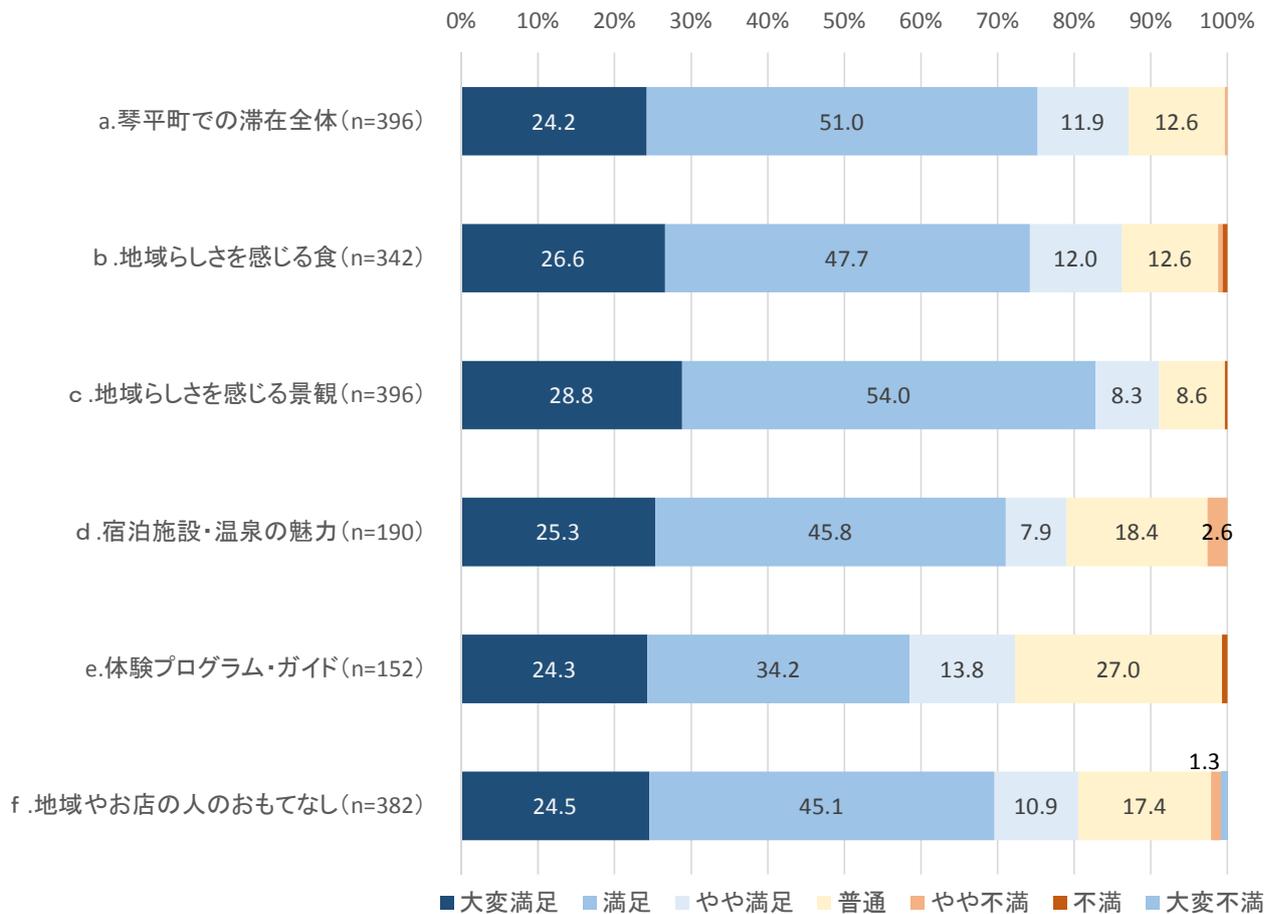
「金刀比羅宮にお詣りをしたかったから」が65.0%で最も多くなっています。琴平町内の訪問場所については、「金刀比羅宮」への訪問が圧倒的に多く、「金刀比羅宮」以外の訪問場所がほとんどありません。





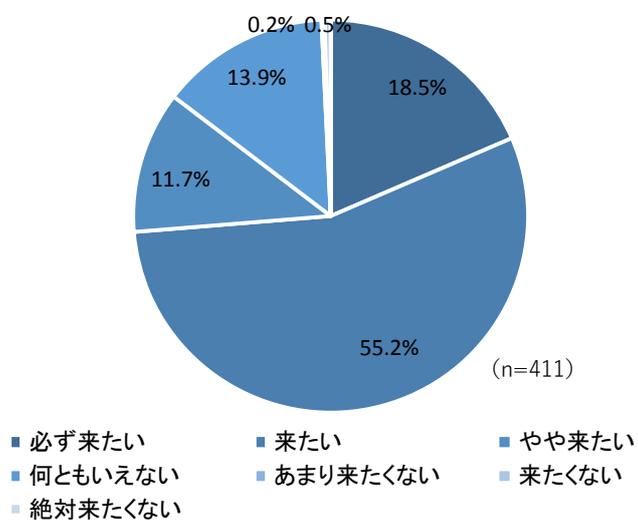
### ○満足度

大変満足と満足の合計が占める割合は、「地域らしさを感じる景観」が最も高く、「体験プログラム・ガイド」、「地域やお店の人のおもてなし」はやや低くなっています。



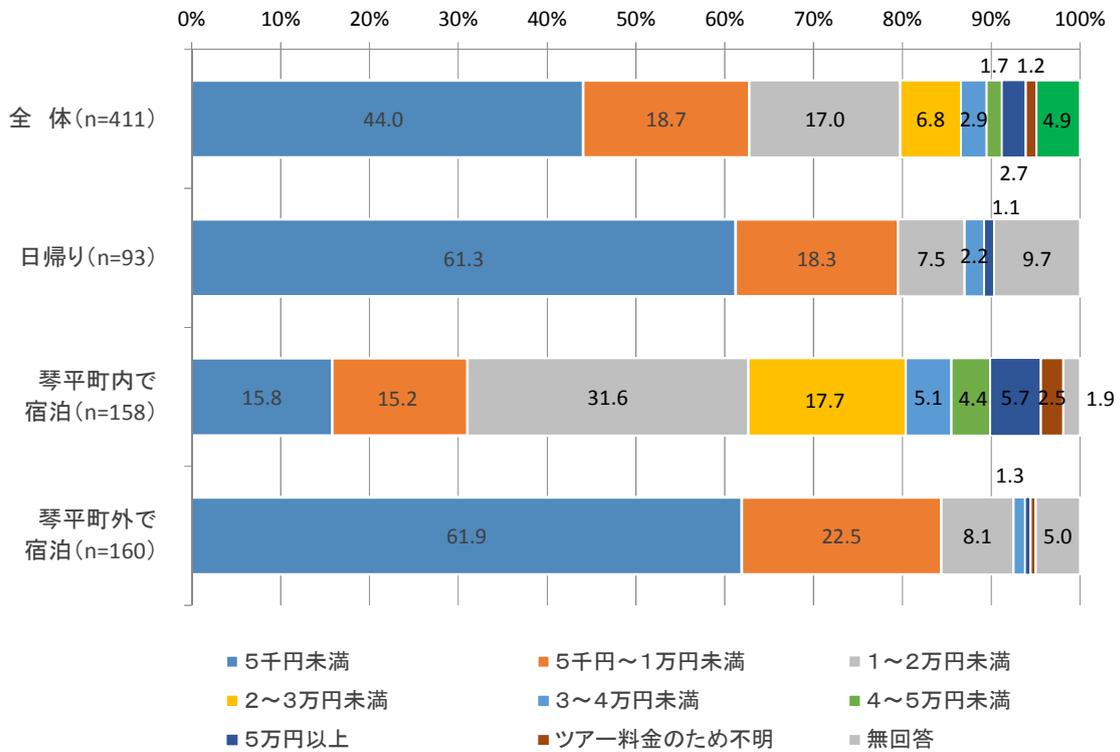
### ○琴平町への再訪意向

「必ず来たい」(18.5%)、「来たい」(55.2%)を足すと、73.7%の方に強い再訪意向があります。



### ○琴平町滞在中の大人1人あたりの支出金額

大人1人あたりの支出金額は、『全体』では「5千円未満」が最も多くなっています。旅行日程別にみると、『日帰り』『琴平町外で宿泊』では「5千円未満」が約6割を占めています。『琴平町内で宿泊』は、2万円以上の割合が増えてきます。



#### <うち琴平町内宿泊費>

金額	回答数	割合
5千円未満	19	15.6%
5千円～1万円未満	22	18.0%
1～2万円未満	49	40.2%
2～3万円未満	17	13.9%
3～4万円未満	11	9.0%
4～5万円未満	3	2.5%
5万円以上	1	0.8%

#### <うち飲食費>

金額	回答数	割合
千円未満	44	12.6%
千円～2千円未満	77	22.0%
2千円～3千円未満	68	19.4%
3千円～4千円未満	43	12.3%
4千円～5千円未満	3	0.9%
5千円～1万円未満	78	22.3%
1～2万円未満	22	6.3%
2～3万円未満	13	3.7%
3～4万円未満	1	0.3%
4～5万円未満	0	0.0%
5万円以上	1	0.3%

## 2 強みと弱み

琴平町の内部環境である「強み」と「弱み」、琴平町をとりまく外部環境である「機会」と「脅威」の4つの視点から現状を整理すると下記ようになります。

強みをより活かし、また弱みを強みに転換していくことにより、目的地として選ばれ続けるための琴平町の魅力を高めます。

内部環境	強み（琴平の武器/活かす）	弱み（琴平の弱点/克服する）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国的な知名度とブランド力がある金刀比羅宮</li> <li>○金刀比羅宮、金丸座、高灯籠などの豊富な歴史・文化資源</li> <li>○門前町の商店の集積</li> <li>○交通立地条件の良さ（国道、鉄道、高速道路、空港、高速バス）</li> <li>○集落ごとの強い団結力</li> <li>○温泉（温泉郷）の存在</li> <li>○一大イベント「こんぴら歌舞伎」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金刀比羅宮以外の楽しみ方がない（金刀比羅宮に頼りすぎ）</li> <li>○観光の推進体制の弱さと人材不足</li> <li>○業種間、業界団体間の連携不足</li> <li>○若者が少ない、次のリーダーの育成</li> <li>○魅力ある滞在コンテンツの造成</li> <li>○地域やお店の人のおもてなし</li> <li>○商店主の高齢化と空き家・空き店舗の増加</li> <li>○市街地にまとまった土地が無い</li> </ul>
外部環境	機会（琴平のチャンス/利用する）	脅威（琴平を脅かす要因/緩和する）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国の観光施策の充実（2020年に訪日観光客4,000万人）</li> <li>○2020年東京オリンピック・パラリンピック開催</li> <li>○香川せとうちアート観光圏における主たる滞在促進地区指定</li> <li>○土讃線新観光列車の運行</li> <li>○旅行形態の変化（個人旅行、ネット）</li> <li>○旅行者の旅行目的の多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地政学的リスクによる世界的な経済不況</li> <li>○東日本大震災、原発事故、円高による訪日旅行、国内旅行の低迷</li> <li>○他地域との競争激化（国内観光、訪日旅行、さらに世界規模の競争）</li> <li>○国内旅行者の漸減傾向（旅行魅力の相対的な低下）</li> </ul>

### 3 課題

琴平町の現状の整理から、観光の課題を整理すると次のようになります。

#### (1) 地域独自の価値の向上（ブランド力）

全国的な知名度とブランド力がある金刀比羅宮だけではない、さらなる琴平町の観光ブランドをつくる必要があります。地域全体の価値を高める、という視点で戦略的なブランド構築に取り組むことが重要です。

#### (2) 地域独自の価値を体験できる魅力の創出（コンテンツ力）

町の空間、食、宿泊施設、滞在プログラムといったコンテンツの質を高め、金刀比羅宮以外でも滞在時間を延ばせる、新たな地域の魅力づくりに取り組む必要があります。市場の開拓という点では、訪日外国人観光客のニーズを掴むことが重要です。

#### (3) 快適に安心して滞在できる受入環境の整備（滞在拠点力）

サービス、交通、おもてなしの質を高め、琴平町を拠点に、できるだけ長く滞在してもらうための、受入環境の整備に取り組む必要があります。来訪者をお店や施設のお客様としてだけでなく、「地域全体のお客様」として捉え直すことが重要です。

#### (4) 持続的に地域をマネジメントする人材の育成と体制の確立（人材力・組織力）

施設最適、業界最適のみならず、全体最適の組織的な観光推進に取り組む必要があります。また、そのためにも、琴平町の観光を担う人材育成が重要です。

#### (5) 地域の多様な関係者との連携（地域力）

琴平町のファンを拡大していくためには、従来の観光業関連の方のみならず、これまで観光に直接携わる機会がなかった方にも、観光に関わってもらうことで、地域力の底上げを図り、琴平町を好きになってもらう機会を増やしていく必要があります。

#### (6) 来訪者からの評価の反映（顧客評価）

各種取り組みの成果や改善点を把握するため、来訪者の動向や滞在に関する満足度等を継続的に調査する必要があります。

## 第3章 基本的な考え方

### 1 琴平町観光の基本理念

第4次琴平町総合計画では、「住んでよし 訪れてよし ことひら」を基本理念として設定しています。本計画でも「何のために観光に取り組んでいくのか」という基本的な考え方を共有するための理念を設定します。

#### 基本理念

いつの時代も、人が幸せを感じる町であるために

琴平町は、江戸中期から盛んになった「こんぴら参り」によって、全国から人が訪れ、「一生に一度は、こんぴらさん」と、誰もが憧れる旅先となりました。

現代になり、社会状況やライフスタイルが大きく変わりましたが、300年以上たった今でも、「幸せになりたい」と願う人々の思いは変わらず、毎年、多くの方が琴平町を訪れています。

琴平町が過去から現在に至るまで、住む人も訪れる人も、幸せを感じる町であったように、私たちは、この町の姿を次世代につなげられる観光に取り組みます。

また、観光に取り組むにあたって、特に重視したい基本的方針を「大切にしたい考え方」として設定します。

#### 大切にしたい考え方

- 住む人も、訪れる人も幸せを感じる観光地域づくりを進めること
- まちが一体となってブランド価値向上に取り組むこと
- 地域の誇りに共感してもらえる、来訪者との関係づくりを進めること
- 先人から受け継いだ地域資源を大切にし、新しい価値を生むこと
- 地域や立場にこだわらず、お客様の目線を重視すること
- 持続可能を重視し、長期的なブランド構築の視点を持つこと

## 2 地域独自の価値とブランド・コンセプト

### (1) 地域独自の価値

琴平町にしかない「地域独自の価値」について、「琴平町の風土や文化に根付いているもの」「琴平町民が誇りとしているもの」「来訪者にじっくりと味わってほしいもの」といった観点から、本計画では次の3つを示します。

---

数百年を超えて、信仰と観光の町として一体的に発展してきた

### 「金刀比羅宮とその門前町」

---

旅人が金刀比羅宮へ参拝し、門前町で滞在してきた当地では、信仰と観光は不可分一体のものとして認知されてきました。また、参拝者を広く集める講、おもてなしの精神につながる流し樽、消費を喚起する娯楽や市などを生んだ「こんぴら参り」という仕組みは、琴平町固有の文化的価値だと言えます。

---

象頭山、参道の石段と町並み、金倉川等が一体となって形成する

### 「自然・歴史景観」

---

遠く瀬戸内海からも仰げる象頭山の麓に、かつて参拝者が体を清めた聖なる川・金倉川が流れ、参道の両側にひしめき合うように町並みが形成され、奥社まで続く1368段の石段と配された歴史的建築物など、連続する自然・歴史資源が、独特の景観を形成しています。

---

小さな町に複数の街道が交差していたがゆえに、複合的に発展した

### 「伝統文化・遊興」

---

金刀比羅宮の神事、朔日参、太鼓台が練り歩く地元の祭りといった伝統文化が暮らしに根付いています。また、参拝後の心あそばす町として、こんぴら歌舞伎や富くじに代表される伝統的な大衆芸能・遊興が息づいてきました。

## (2) ブランド・コンセプト

# ことひらく、<sup>おもむき</sup>趣の郷

「地域独自の価値」にもとづく、琴平町内外への変わらないメッセージとなる、琴平町観光のブランド・コンセプトを「ことひらく、趣の郷」と表現します。

「ことひらく」には、「琴平、事拓く、願いが叶う、新しいことが始まる」といった意味があります。

「趣」には、「心の向かうところ、感じさせる風情、文化性、面白み」といった意味があります。

つまり琴平町は、常に新しい境地を拓いてきたという先進性と、長年の人々の往来や交流によって形成、蓄積されてきた歴史的・文化的価値があり、それらを高い品質で体験できる地域であるとの意味を込めています。

琴平町の「趣」の世界観を伝え、琴平町の観光ブランドとして確立していきます。

### 3 達成目標

平成 32 年までに達成する目標を次のとおり設定します。目標設定の観点として、観光を産業として評価することを重視し、量の向上に関する目標と質の向上に関する目標を設定しました。毎年の実績値をもとに、適切な目標管理を行います。

#### ①観光地入込客数（毎年対前年比 5%増加）

平成 22 年までは、300 万人前後で推移していた観光地入込客数も、近年は 250 万人前後と漸減傾向にあります。目標としては、300 万人の回復を目指します。



#### ②宿泊者数（毎年対前年比 2%増加）

宿泊者数は毎年増加傾向にあり、今後も増加基調を維持することが重要です。目標としては、年間 40 万人泊以上を目指します。



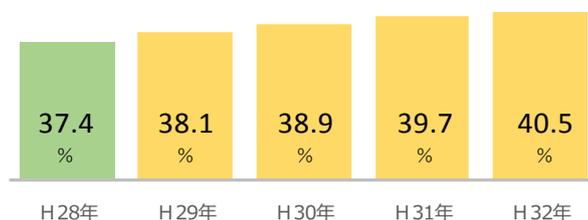
#### ③平均宿泊日数（毎年対前年比 2.5%増加）

琴平町を拠点とした潜在力を測る指標として、平均宿泊日数を設定します。目標としては、平成 27 年の香川県平均である 1.25 泊を目指します。



④消費額が「2万円以上」の町内宿泊者の割合（毎年対前年比2%増加）

経済効果を測る指標として、消費額（宿泊・飲食・お土産）が「2万円以上」の町内宿泊者の割合を設定します。目標としては、40%以上を目指します。



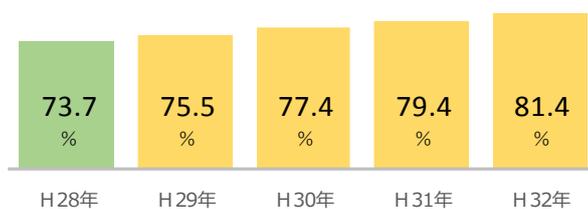
⑤滞在満足度（毎年対前年比2%増加）

来訪者から高い評価を得ていることを測る指標として、滞在満足度を設定します。目標としては、80%以上を目指します。



⑥再訪問意向率（毎年対前年比2.5%増加）

来訪者から高い評価を得ていることを測る指標として、再訪問意向率を設定します。目標としては、80%以上を目指します。



※現状数値は、入込客数はH27年香川県観光動態調査、宿泊者数はH27年琴平町宿泊者統計（推計）、  
その他はH28年琴平町来訪者調査

※町内宿泊者消費額2万円以上率：H27県平均は宿泊・飲食・お土産で21,717円（交通費・入館料・その他費は含まず）

※滞在満足度：7段階評価で「大変満足」「満足」の占める割合

※再訪問意向：7段階評価で「必ず来たい」「来たい」の占める割合

## 第4章 アクションプラン

琴平町の観光ブランドを向上させ、目標を達成するためのアクションプランとして、次の取り組みを行います。

		事業内容	
1.ブランド価値の構築	他地域と差別化された地域独自の価値(地域らしさ)を、ブランド・コンセプトとして明確化する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○琴平町のブランド構築に関する勉強会の開催</li> <li>○ブランドロゴ、コンセプトブックの制作</li> </ul>	
2.ブランド価値の提供	国内外の来訪者が地域らしさを体感できる地域の魅力創出	地域独自の景観形成・自然資源・歴史資源の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○琴平町らしい景観形成・サイン計画</li> <li>○空き店舗活用に関する「琴平モデル」の調査・研究</li> <li>○金丸座の積極的な活用</li> <li>○琴平山と金倉川の保全と活用</li> </ul>
		地域ならではの「食」の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光とつながる農業プロジェクト「琴平を食べよう！！」</li> <li>○ことひら市場の創設</li> </ul>
		宿泊施設の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○品質認証制度「サクラクオリティ」の研究・導入</li> </ul>
		滞在交流型観光を推進するための滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を活用した滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供</li> <li>○朝・夕の滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供</li> <li>○金刀比羅宮の新たな魅力発信</li> <li>○修学旅行生向け商業・農業体験</li> </ul>
国内外の来訪者が快適かつ安心して周遊・滞在できる受入環境の整備	来訪者及び市場に対するワンストップ窓口の整備	来訪者及び市場に対するワンストップ窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんぴら観光案内所のバージョンアップ</li> </ul>
		移動手段(二次交通等)の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺の市町と連携した琴平町発着の周遊バスの運行</li> <li>○金刀比羅宮ご本宮までのタクシープランの検討</li> </ul>
		サービス品質・安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全・安心・歩きやすい歩道づくり</li> <li>○町民参加のおもてなし運動</li> <li>○ガイドの育成と歴史的価値の保存</li> </ul>
		訪日外国人の受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション力の向上</li> <li>○WEBサイト、観光パンフレットや案内板の多言語対応</li> </ul>
3.ブランド管理	持続的に地域のブランド管理を担うマネジメント体制の確立	観光地域づくりに関わる推進組織の確立と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんぴら観光ブランド戦略会議(仮称)の設置</li> </ul>
		地域内外への統合的な情報共有・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一元的な地域情報サイトの整備</li> <li>○国内/国外向け観光プロモーション</li> </ul>
	地域の多様な関係者との連携	官民・産業間・地域間との連携による地域一体の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こんぴら観光ブランド戦略会議(仮称)の設置(再掲)</li> </ul>
		地域住民の理解と関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの観光行事等への参画</li> <li>○朔日参、十日参などの民間伝統行事の継続</li> <li>○こんぴら学校の開校</li> </ul>
4.来訪者の評価	地域側の各種取組の成果として、来訪者からの評価を得る取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○琴平町来訪者調査の実施</li> </ul>	

## 1 ブランド価値の構築

琴平町のブランド価値を構築するために、次の事業に取り組みます。

### ①地域独自の価値とブランド・コンセプトの深度化と浸透

琴平町は、金刀比羅宮の門前町として、全国から多くの人々が訪れている場所ですが、町全体の統一的なブランディングへの取り組みは弱い状況にあります。他地域と差別化を図り、国内外の人々に選ばれる琴平ブランドの源泉が何であるかを明確にし、地域全体で認識するため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

#### ○琴平町のブランド構築に関する勉強会の開催

琴平町の強みや地域独自の価値の再認識、それらを活かす地域ブランディングについて学ぶため、様々な分野の専門家による勉強会を開催します。地域独自の価値を深掘りし、ブランド・コンセプトを洗練していきます。

#### ○ブランドロゴ、コンセプトブックの制作

深掘りしたブランド価値を地域内外に浸透させるため、ブランド価値を視覚化した「ブランドロゴ」やブランド価値が意図することを伝える「コンセプトブック」を制作します。

## 2 ブランド価値の提供

琴平町のブランド価値を来訪者に体験してもらうための「地域の魅力創出」と「受入環境の整備」について、次の事業に取り組みます。

### (1) 国内外の来訪者が地域らしさを体感できる地域の魅力創出

#### ①地域独自の景観形成、自然資源・歴史資源の保全と活用

風景や景観は、その町を印象づける最たる地域資源です。引き続き琴平町らしい景観形成や資源を活用し、高い満足度を維持するため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

##### ○琴平町らしい景観形成・サイン計画

統一感や調和性のある参道空間（街道、参道の商店の店構えや屋外広告物）のあり方の検討や、車利用者にも歩行者にもわかりやすく、琴平町らしいデザインの案内表示を行うサイン計画に取り組みます。また、金刀比羅宮例大祭の際に軒先に吊るす提灯を常時使用するなど、住民参加で取り組める暮らしの景観づくりに取り組みます。

##### ○空き店舗活用に関する「琴平モデル」の調査・研究

参道沿いに空き店舗が増えていますが、意欲のある新規事業者が開業できる不動産として活用することで、新しい賑わいづくりの可能性が見えてきます。住居として使用されている場合もありますが、居住空間を確保した上で、参道に面している部分を休憩所や店舗に転用するといった「琴平モデル」の活用方策に関する調査・研究に取り組みます。

##### ○金丸座の積極的な活用

歴史的な建造物や文化財は、その多様な価値を再認識し活用することで、新たな地域の魅力の創出につながります。金丸座でのイベントやユニークベニュー（特別な場所での特別な体験）など、文化的価値を高められ、かつ持続的な保全に役立つ活用に取り組みます。

##### ○琴平山と金倉川の保全と活用

古くから金刀比羅宮とともに護られてきた鎮守の森「琴平山」や象頭山の麓を流れる「金倉川」は、来訪者の印象に残る町の景観の1つです。自然豊かな裏参道で見られる植物樹木のネームプレート設置や都市景観としての金倉川的环境改善に取り組みます。

## ②地域ならではの「食」の提供

琴平町の観光で「食」といえば、来訪者にとっては「うどん」が挙げられています。テイクアウトできるご当地グルメやお土産・特産品の開発・販売は一定の取り組みが見られますが、琴平町の地域素材を使った食事の魅力はやや弱い状況にあります。地域ならではの「食」の提供を通して琴平町の魅力を伝えるため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

### ○観光とつながる農業プロジェクト「琴平を食べよう！！」

農家と観光業者（ホテル、飲食店）が連携し、琴平町オリジナルの野菜の栽培やその野菜を使った「琴平町でしか食べられない」メニューやこだわりのある高品質な食材を使った個人旅行客向けのメニューの開発など、観光とつながる農業に取り組みます。

### ○ことひら市場の創設

琴平町内には、町民も来訪者も立ち寄れる産直市場や道の駅がないため、地元参加型の市場（農作物の産直、飲食店等）を設置することで、農業所得や滞在消費額の向上に取り組みます。中心市街地周辺の未利用スペースや新町商店街の空き店舗を有効活用することで、徒歩周遊動線の拡大にもつなげます。

## ③宿泊施設の魅力向上

宿泊来訪者は宿泊施設での滞在時間が長く、宿泊施設での滞在の魅力を高め、一定品質のサービスを提供できることが、琴平観光の満足度や再訪問意欲を高めることにつながります。

《主な取り組み》

### ○品質認証制度「サクラクオリティ」の研究・導入

香川せとうちアート観光圏をはじめ、全国 13 の観光圏が一体となり世界標準の観光品質認証「サクラクオリティ」の導入を進めることから、香川せとうちアート観光圏の主たる滞在促進地区である琴平町の宿泊施設においても導入に向けて取り組みます。

#### ④滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供

琴平町は、金刀比羅宮への参拝以外の滞在の楽しみ方や増加する訪日外国人観光客への滞在提案が弱い状況にあります。琴平町のブランド価値を体験できる滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供に向け、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

##### ○地域資源を活用した、滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供

琴平町内の事業者や愛好家がインストラクターとなるなど、地域の人が持つ技を琴平町での趣ある滞在コンテンツ・プログラムとして造成・提供します。また、体験場所として金丸座などの歴史的資源を有効活用します。

- ・ 日本文化体験（茶道・書道・舞踊・生け花）
- ・ 浴衣や着物体験（旅館で色浴衣選び・着付け体験/町歩き・公会堂/金丸座などでのタイムスリップ撮影）
- ・ 伝統体験（うどん・和三盆・簡単な一刀彫・和小物クラフト）
- ・ 日帰り温泉（湯めぐり割引・和風エステ/ネイル・温泉で地酒・ふんどし体験）
- ・ インバウンド・若年層向け宿泊プラン（民家/農家に泊まろう・日本家庭の味を楽しもう）
- ・ 金丸座での歌舞伎体験（歌舞伎の衣装、化粧して記念撮影など）
- ・ アートな視点でのまち歩き（金刀比羅宮、高灯籠内部の文字描写、歌舞伎絵看板など）
- ・ 金倉川で和船の運航

##### ○朝・夕の滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供

琴平町内での宿泊滞在を促すため、朝または夕方や夜の魅力づくりに取り組みます。

- ・ ナイトライフ（歌舞伎/浴衣/地酒/町民日替わり居酒屋・アマチュア落語・夜市等）
- ・ 朝のこんぴらさんツアー/ナイトツアー（夜のこんぴらさん ムササビと遭遇）

##### ○金刀比羅宮の新たな魅力発信

金刀比羅宮での行事を積極的に来訪者に情報提供するほか、ゆっくり登ることに価値があると思わせる滞在方法の検討を行います。

##### ○修学旅行生向け商業・農業体験

琴平町で滞在する修学旅行生向けの、商業・農業を学ぶ滞在コンテンツ・プログラムの開発に取り組みます。

- ・ うどん店、土産物店での店員体験
- ・ ホテル・旅館での接客・接遇体験
- ・ こんぴらニンニクの収穫などの農業体験

## **(2) 国内外の来訪者が快適かつ安心して周遊・滞在できる受入環境の整備**

### **①来訪者に対するワンストップ窓口の整備**

スマートフォン等の普及により、現地情報は自分で収集する人も多くなりましたが、訪日外国人への対応や多様化する来訪者ニーズに対応できる、有人観光案内所の必要性は依然として高いです。来訪者に対するワンストップ窓口を整備するため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

#### **○こんぴら観光案内所のバージョンアップ**

こんぴら観光案内所における地域情報の集約化、デジタル端末を利用した外国人対応を含む情報提供機能の充実、人材育成、フリーWi-fiの提供に取り組みます。また、観光圏内の案内所として、琴平町以外での宿泊や交通、着地型旅行商品などをワンストップで手配できるなど、広域観光案内所としての役割も検討します。

### **②移動手段（二次交通等）の確保**

琴平町を拠点として滞在してもらうためには、宿泊施設、JR琴平駅や琴電琴平駅などの交通結節点からの二次交通の整備が不可欠です。滞在に利用できる移動手段（二次交通等）を確保するため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

#### **○周辺の市町と連携した琴平町発着の周遊バスの運行**

現在、まんのう公園のイルミネーションや蛸鑑賞の周遊バスが運行されていますが、今後も善通寺・丸亀・まんのう・観音寺・三豊など、周辺地域との連携により、琴平町を滞在拠点にした西讃エリアでの観光を促進するため、琴平町発着の周遊バスを充実させていきます。

#### **○金刀比羅宮御本宮までのタクシープランの検討**

金刀比羅宮へ参拝したくても身体的・体力的な不安から参拝できない方が増えている中で、現在、大門まで運行されている参拝登山バスに加えて、タクシー利用による御本宮への参拝プランを検討します。

### ③サービス品質・安全性の確保

駐車場の客引き行為が危険で、かつ来訪者の琴平町への評価を下げています。長年にわたる懸案事項であり、より効果的な解決手法をとる必要があります。また、参道の歩行者の安全確保に取り組みます。

《主な取り組み》

#### ○安全・安心・歩きやすい歩道づくり

現在の参道は、一方通行等の規制を行っていますが、車が往来しやすい道路となっていて、歩行者にとっては安心して歩けない状況です。歩道と車道の割合を変更し、車運転者に慎重な運転を意識させるなど、安全で歩きやすい歩道づくりを検討します。

また、JR琴平駅から大門までの区間において、歩行者が休憩するための木陰のあるベンチの設置や長い石段への手すりの設置を検討します。

#### ○町民参加のおもてなし運動

外から来た人は地元の人と少しでも会話がしてみたいものです。最初のお客様への声かけとして「頑張って登って！」や「どちらからおいでたん？」などの一声運動を行います。

また、金刀比羅宮が毎夏行っている「氷柱でのおもてなし」を参道沿いに拡大するといった、まち全体で来訪者をお迎えする気持ちを見せるおもてなし運動を行います。

#### ○ガイドの育成と歴史的価値の保存

金刀比羅宮や琴平町のガイド人を育成するため、「まち歩き塾」に継続的に取り組みます。また、ガイドのレベルアップを図るための研修にも取り組みます。

伝統行事、歴史的建造物、文化財について歴史の文脈の中で語ることで、価値の本質を次世代に伝え残していくことにもつなげます。

#### ④訪日外国人の受入環境の整備

琴平町の平成 26 年訪日外国人のべ宿泊者数は四国で 5 番目であり、今後も増加することが見込まれます。外国人旅行者が安心して快適に旅行できるようにするため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

##### ○コミュニケーション力の向上

訪日外国人観光客と接する機会が多い方を対象に、観光英会話講座、翻訳アプリや通訳通信システムなど情報端末活用講座を実施します。また、高齢者でもコミュニケーションができる「指さし会話シート」の導入を検討します。

##### ○WEBサイト、観光パンフレットや案内板の多言語対応

WEBサイト、観光パンフレットや案内板の多言語対応による観光情報提供を進めます。

### 3 ブランド管理

観光地域づくりの土台となる推進組織や地域連携の体制を構築し、琴平ブランドの管理を行うため、次の事業に取り組みます。

#### (1) 持続的な地域マネジメント体制の確立

##### ①観光地域づくりに関わる推進組織の確立と人材育成

観光事業者を中心とした「観光業振興」から、地域を主役として交流人口拡大を目指す「観光地域づくり」へと転換していくための推進組織や場づくり、観光地域づくりに携わる人材を育成するため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

##### ○こんぴら観光ブランド戦略会議（仮称）の設置（推進体制に詳細）

琴平町観光協会内に、こんぴら観光ブランド戦略会議（仮称）を設置し、観光業と農業、観光業と商工業など、新たな連携によるプロジェクトを主体的に実行していく仕組みをつくります。また、プロジェクトに取り組むことで、企画力や観光面での知見を持つ人材を育成します。

当面は、こんぴら観光ブランド戦略会議（仮称）を中心として観光地域づくりに取り組みますが、平成32年度を目標に、住んでいる人にも、訪れる人にも有益な全体最適を考えた観光事業を展開するための新組織設立を目指します。

##### ②地域内外への統合的な情報共有・発信

琴平町の観光情報は、主に琴平町と琴平町観光協会が発信しています。移住者向けの専用Webサイトはありません。「住んでよし、訪れてよし」の琴平町を発信するために、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

##### ○一元的な地域情報サイトの整備

人が動く動機が多様化する中で、観光、農業、住まい、商業、公共等の分野を横断した情報の一元的に努め、オール琴平を発信できるWebサイトを整備します。

##### ○国内／国外向け観光プロモーション

旅をテーマにした博覧会への出展など、国内外からの来訪を促進するため、町、観光協

会、観光事業者等が一体となり、新しい琴平町の魅力のプロモーションを実施します。また、近隣宿泊地の大步危・祖谷エリアとの連携を図ります。

## **(2) 地域の多様な関係者との連携**

### **①官民・産業間・地域間との連携による地域一体の取り組み**

現在でも相互の連携は個別には行われていますが、琴平町全体の観光地域づくりを考える場はありません。琴平町全体の観光地域づくりやブランドづくりに取り組む場を創るため、次の事業に取り組めます。

《主な取り組み》

#### **○こんぴら観光ブランド戦略会議（仮称）の設置（再掲）**

### **②地域住民の理解と関与**

住んでいる人が誇りに思うまちの魅力を来訪者に体験してもらうため、観光に対する町民意識の醸成やおもてなしの向上に取り組むとともに、観光の視点に限らない、地域内の連携・協働を進めます。

《主な取り組み》

#### **○子どもの観光行事等への参画**

町内の小中学生が考えた観光マップを配布するなど、子どもたちが町の観光行事等に参画し、来訪者と接する機会をつくることで、町への愛着と知識を育む事業に取り組めます。

#### **○朔日参、十日参などの民間伝統行事の継続**

宿泊施設や商店が行ってきた朔日参、全町民が行ってきた十日参を、町民自らがその意味と価値を再認識し継続することで、金刀比羅宮と琴平町とが共存共栄してきた文化的価値を残していきます。

#### **○こんぴら学校の開校**

琴平町民の相互の交流と来訪者との交流にも役立てるため、様々なテーマで町のことを学ぶ「こんぴら学校」を開校します。

- ・サービス向上のためのマナーUP教室
- ・外国人観光客と交流するための英会話教室
- ・琴平町の歴史、文化、現代を学ぶ教室 など

## 4 来訪者の評価

各種取り組みの成果として、来訪者から高い評価を得られているかどうかを把握するため、次の事業に取り組みます。

### ①定期的なマーケティング調査の実施

琴平町では、定期的なマーケティング調査が行われておらず、来訪者の状況や旅行志向を把握できていません。持続的に琴平町のブランド力を高めたり、ターゲットに応じた品質の高い商品やサービスを提供していくため、次の事業に取り組みます。

《主な取り組み》

#### ○琴平町来訪者調査の実施

宿泊施設等の協力を得て、琴平町来訪者（日帰客・宿泊客）の基本属性（性別・年齢・居住地・職業・収入・同行者/人数・訪問歴等）満足度評価、滞在時間、消費金額、再訪問意向などを調査します。

# 第5章 推進体制

## 1 推進体制

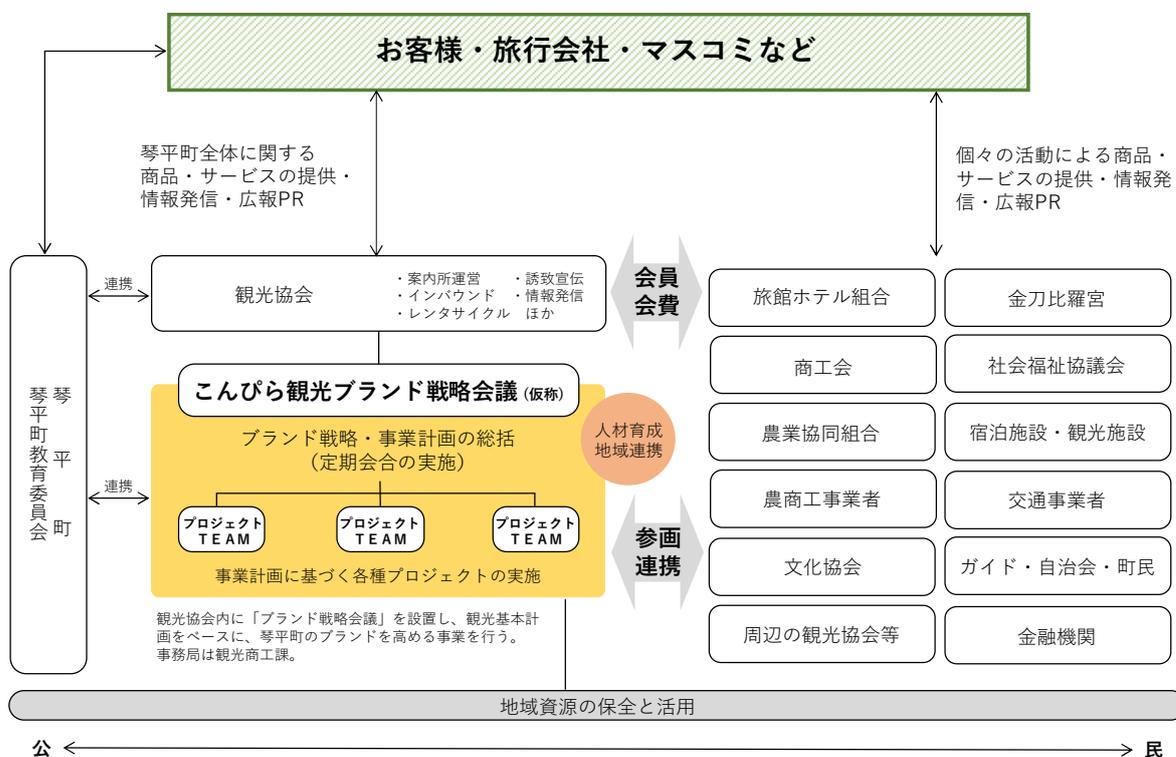
観光基本計画を推進し、琴平町の観光ブランドを向上させていくため、次のような推進体制をつくりまます。

### 【第一段階（平成31年度まで）】

琴平町観光協会内に、ブランド戦略や事業計画の総括を行う「こんぴら観光ブランド戦略会議(仮称)」を設置します。また、戦略会議内に観光基本計画の具体化に取り組む「プロジェクトチーム」を設置します。

「プロジェクトチーム」はプロジェクトを企画・実現したい有志による主体的な活動とし、琴平町、琴平町観光協会がその活動を支援します。

これにより、観光業と農業、観光業と商工業など、町内外の多様な連携と企画力や観光面での知見を持つ人材を育成します。また、香川せとうちアート観光圏や徳島・にし阿波地域など、広域連携による取り組みも進めます。

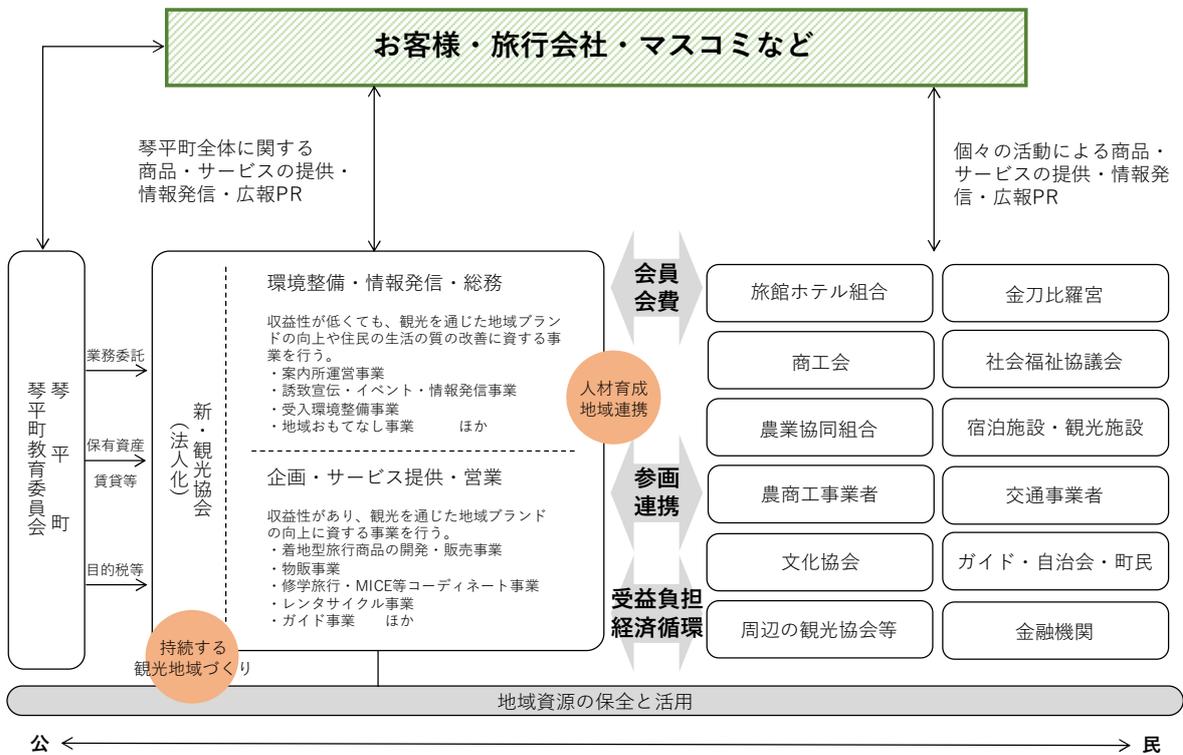


【第二段階（平成 32 年度以降）】

「こんぴら観光ブランド戦略会議(仮称)」を中心として観光地域づくりに取り組んだ成果を検証した上で、平成 32 年度を目標に、琴平町全体の観光地域づくりに取り組む新組織設立を目指します。

本計画で目指す観光地域づくりの理念に基づき、新組織は公益性（全体の利益、地域資源の保全、住民生活の質の向上）と持続性（持続可能な収益、地域経済への貢献）のバランスを保つ仕組みとします。

持続性の確保のために、会費収入、「プロジェクトチーム」が取り組んできた観光事業の収益事業化と受益者負担のほか、行政からの業務委託収入、観光施設の運営収入、観光目的税といった様々な方法の組み合わせを検討します。



## 2 推進体制における役割

推進体制における、各主体の役割を次のとおりとします。

<p>こんぴら観光ブランド 戦略会議(仮称)</p>	<p>観光基本計画をベースに、琴平町のブランド向上や観光事業の町全体への波及効果を高める活動を行います。 町内外の叡智を結集し、次の時代の琴平町を拓く原動力となり、次世代の観光の創造に取り組みます。</p>
<p>琴平町民</p>	<p>世界とつながる観光都市の住民として、琴平町の歴史や文化などの魅力と誇りを大切にし、住む人が感じる地域の魅力を、おもてなしの気持ちとともに来訪者に伝えていきます。また、主体的な事業への参画など、住む人も、訪れる人も幸せになる観光をつくりあげること協力していきます。</p>
<p>民間事業者</p>	<p>事業活動を通じて、来訪者に対する魅力的な観光サービス・商品、滞在環境を提供し、来訪者を幸せにすることで、満足度や再訪問意向の向上を図ります。 特に宿泊・交通・物販・飲食など、直接的に観光に携わる民間事業者は、プロジェクトチームへの参画を通じて、次世代の観光の創造にも取り組みます。</p>
<p>琴平町商工会</p>	<p>プロジェクトチームや民間事業者が行う観光事業へのアドバイス、商品開発のサポート、情報提供、創業支援、経営相談を行います。</p>
<p>琴平町観光協会</p>	<p>琴平町の観光情報を集約・発信するとともに、こんぴら観光ブランド戦略会議(仮称)の成果を積極的にお客様や旅行会社等に発信するなど、ワンストップ窓口として、地域と市場とをつなぐ役割を担います。</p>
<p>琴平町・琴平町教育委員会</p>	<p>琴平町観光基本計画を着実に実行していくため、幅広い支援を行います。また、目標達成度の把握など、観光基本計画の進捗管理や、状況に応じた計画の検証・修正を行います。 また、学校教育においても、次の世代を担う子どもたちが、郷土愛を育めるようなイベントや学びの場づくりに取り組みます。歴史資源や文化財の保全のみならず、観光面で積極的に活用することで次の世代に残していく環境整備にも取り組みます。</p>

# 第6章 ロードマップ

取り組み項目		事業内容	
1.ブランド価値の構築	他地域と差別化された地域独自の価値(地域らしさ)を、ブランド・コンセプトとして明確化する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○琴平町のブランド構築に関する勉強会の開催</li> <li>○ブランドロゴ、コンセプトブックの制作</li> </ul>	
2.ブランド価値の提供	地域独自の資源の保全等の取り組み	○琴平町らしい景観形成・サイン計画	
		○空き店舗活用に関する「琴平モデル」の調査・研究	
		○金丸座の積極的な活用	
		○琴平山と金倉川の保全と活用	
	国内外の来訪者が地域らしさを体感できる地域の魅力創出	地域ならではの「食」の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光とつながる農業プロジェクト「琴平を食べよう！！」</li> <li>○ことひら市場の創設</li> </ul>
		宿泊施設の魅力向上への取組	○品質認証制度「サクラクオリティ」の研究・導入
	滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供		○地域資源を活用した滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供
			○朝・夕の滞在コンテンツ・プログラムの造成・提供
			○金刀比羅宮の新たな魅力発信
			○修学旅行生向け商業・農業体験
			○安全・安心・歩きやすい歩道づくり
			○町民参加のおもてなし運動
	国内外の来訪者が快適かつ安心して周遊・滞在できる受入環境の整備	ワンストップ窓口の整備	○こんびら観光案内所のバージョンアップ
		移動手段(二次交通等)の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺の市町と連携した琴平発着の周遊バスの運行</li> <li>○金刀比羅宮ご本宮までのタクシープランの検討</li> </ul>
サービス品質・安全性の確保		○ガイドの育成と歴史的価値の保存	
		○コミュニケーション力の向上	
訪日外国人の受入環境の整備	○WEBサイト、観光パンフレットや案内板の多言語対応		
3.ブランド管理	持続的に地域のブランド管理を担うマネジメント体制の確立	推進組織の確立と人材育成	○こんびら観光ブランド戦略会議(仮称)の設置
		統合的な情報共有・発信	○一元的な地域情報サイトの整備
			○国内/国外向け観光プロモーション
	地域の多様な関係者との連携	地域一体の取り組み	○こんびら観光ブランド戦略会議(仮称)の設置(再掲)
		地域住民の理解と関与	○子どもの観光行事等への参画
			○朔日参、十日参などの民間伝統行事の継続
○こんびら学校の開校			
4.来訪者の評価	地域側の各種取組の成果として、来訪者からの評価を得る取り組み	○琴平町来訪者調査の実施	





---

## 資料編

---

琴平町観光基本計画策定委員会 開催記録

日時	内容	場所
平成28年10月 3日(月) 14:00~15:30	第1回審議委員会 ○琴平町観光基本計画について ○琴平町の観光について	琴平町役場 3階 大会議室
平成28年10月14日(金) 19:00~21:00	第1回検討委員会 ○琴平町観光基本計画について ○事例講演「にし阿波～剣山・吉野川観光圏のブランド構築」 ○観光基本計画の理念とブランド・コンセプトについて	琴平町役場 3階 大会議室
平成28年10月24日(月) 19:00~21:00	第2回検討委員会 ○琴平町の現状について ○観光基本計画の理念の検討 ○ブランド価値、ブランド・コンセプトの検討	琴平町役場 3階 大会議室
	検討委員によるアクションプラン案の検討・提出	
平成28年11月 7日(月) 19:00~21:00	第3回検討委員会 ○理念・地域独自の価値・ブランド・コンセプトについて ○アクションプランの検討	琴平町役場 3階 大会議室
平成28年11月14日(月) 19:00~21:00	第4回検討委員会 ○アクションプランの検討	琴平町役場 3階 大会議室
平成28年11月28日(月) 14:00~15:30	第2回審議委員会 ○検討経過の報告 ○中間とりまとめについて	琴平町役場 3階 大会議室
平成28年12月22日(木) 18:30~20:00	第5回検討委員会 ○推進体制等の検討	琴平町役場 3階 大会議室
平成29年1月19日(木) 18:30~20:00	第6回検討委員会 ○観光基本計画案について ○推進体制等の検討	琴平町役場 3階 大会議室
平成29年1月31日(火) 14:00~15:30	第3回審議委員会 ○観光基本計画案について	琴平町役場 3階 大会議室
平成29年2月14日(火) 14:00~15:30	第4回審議委員会 第7回検討委員会 (合同) ○観光基本計画案について	琴平町役場 3階 大会議室

琴平町観光基本計画策定委員会 審議委員名簿

	所属	役職	氏名
会長	琴平町観光協会	会長	西村 好平
副会長	琴平町観光協会	専務理事	臼杵 徹
副会長	こんぴら温泉旅館ホテル協同組合	代表理事	近兼 弘幸
委員	琴平町観光協会	副会長	吉田 親司
委員	金刀比羅宮	総務課長	請川 誠之
委員	琴平町商工会	事務局長	嶋田 悟
委員	琴平町議会	議長	片岡 英樹
委員	琴平町議会	総務産業経済常任委員長	安川 稔

琴平町観光基本計画策定委員会 検討委員名簿

	所属	役職	氏名
委員	こんぴら温泉湯元八千代	代表取締役	漆原 康博
委員	紀の国屋本店		前田 沙織
委員	五人百姓 池商店		池 祐香里
委員	株式会社イシカワ	代表取締役	岡野 尚美
委員	三水会／こんぴら山下ガイドの会		橘 正範
委員	農業創生 楽農		森井 幹夫
委員	琴平の子育てと教育を考えるグループ K <sup>3</sup>	代表	大西 良子
委員	琴平町商工会	経営指導員	住谷 健治
委員	琴平町商工会青年部	部長	国時 史明
委員	四国こんぴら歌舞伎大芝居事務局		宮武 陽子
委員	地域おこし協力隊	協力隊員	中村 充
委員	地域おこし協力隊	協力隊員	吉田 寛子
委員	地域おこし協力隊	協力隊員	山田 梨沙
委員	地域おこし協力隊	協力隊員	山崎 智久
委員	地域おこし協力隊	協力隊員	近藤 進介







**琴平町観光基本計画**  
平成 29 年 3 月

発行：琴平町観光商工課  
〒766-8502 香川県仲多度郡琴平町榎井 817-10  
TEL:0877-75-6700 FAX:0877-73-2120  
<http://www.town.kotohira.kagawa.jp/>